



►エラボ・トク



左からリチャード・カウフシ、シオネ・トケ、アイセア・ハベア



►CTBアイセア・ハベア

リチャードは花園大で副将も経験している。チームの戦術などを鎌田主将らと積極的にコミュニケーションを行っている。礼儀正しく、陽気な性格で、他の六甲選手ともすっかりなじみ、お気に入りの音樂はB'OROの「大阪で生まれた女」だ。最近のお気に入りは「あたりまえ体操」だそうで、H'G団を組むSH橋詰はそのあたり前体操を行う芸人(COWCOW)にそっくりなことから、そのうちサイン「アタリマエ」が生まれるかも知れない。

心優しきトンガ3戦士

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 第49回日本選手権1回戦 | (2013年2月2日・秩父宮or花園) |
| 全国クラブ大会決勝 | (2013年1月19or20日・秩父宮or花園) |
| 全国クラブ大会準決勝 | (2013年1月13日・秩父宮or花園) |
| 関西CTL vs 名古屋クラブ | (11月4日・J-GREEN堺) |
| 関西CTL vs ぎふ清流ラガーズ | (62-5・滋賀・希望が丘) |
| 関西CTL vs 芦屋クラブ | (94-3・滋賀・希望が丘) |



～ぎふ清流から10トライ、
19年連続19回目の全国切符!～

練習試合とはいえ、屈辱は忘れられない。昨夏「ぎふ清流ラガーズ」の交流戦で六甲は10-50で大敗。どん底をいやというほど味わった。「ただ勝つだけでは気がおさまらないせん。内容でも圧倒したい」この試合から公式戦に復帰する鎌田主将はいつになく好戦的な言葉を口にした。

相手の「ぎふ清流ラガーズ」は10月初旬に行われた「ぎふ清流国体」に向けて4年前に結成。岐阜県内出身の有力選手や強豪朝日大学の卒業生を中心に関4回の練習をこなし、下部リーグから最短距離で勝ち進み、今季関西CTLに昇格してきた強豪である。優勝を目指していた国体本大会でも惜しく敗れた。

も1トライ差で3位となつたが、「もう一つの目標」である全国クラブ大会出場へ、初秋の名古屋クラブに競い勝ち「六甲を食うやる!」といふ強い意気込みで、この一戦に臨んできた。

申心中に「コミュニケーション」を図る。「やつぱり、相手はひた向きにくる。強い。後半も0—0の気持ちでスターントしよう!」(鎌田主将)
後半から替わったSH谷が、自在に動く。
後半5分、フェイントプレーで巧みに相手の裏に出て、ぎりの流れを削ぐトライを決めた。
BKだけでなく、FWも健闘した。不安だったラインアウトも何とか安定。モールからトライを取れる形ができたのが大きかった。ぎりの激しいブレイクダウンにも大内・舛尾のベテラン勢が体を張って対抗。若いFWを引つ張った。久々に「7番を背負った舛尾はこの試合両軍通じて最年長の38歳。後半33分こまよまダメ押し」といえるトライも

スポーツ振興
くじ助成事業

t
O
t
O

FOLI
BALL BRAND
OF JAPAN

「反則が前半を通じて4というのは良かったと思う。ただ、前半しつかり止めていたタックルが、後半20分を過ぎて、甘くなっていた。日本選手権で学生王者に最後まで食らいくには、レベルを二つも二つも上げていかなければいけない」(東田HC)

「4次5次の場面ではぎふのほうが動きがよかつた。まだまだ日本になれる力をを持つていない。自分に甘えている場面もあると思う。そこを越えて行こう」(鎌田主将)

19年連続の全国大会出場権を確保したが、本当の戦いはここから始まる。

六甲ファイティングブル。

今まで走り友するのぞー。

Vol. 12 2012.10

EWS

シーズン佳境号

10月14日 滋賀県希望が丘公園球技場で関西クラブトーナメントリーグが行われ、六甲ファイティングブルは62-5と快勝した。リーグ戦を2連勝したことと、今季のリーグ2位以上が確定。19年連続19回目の全国大会出場を決めた。

試合は国体チームでもあつたぎふ清流ラガーズの仕掛けの速さに苦しみながらも10トライを上げた。六甲は関西第1代表をかけて11月4日(日)、JGR EEN堺で、名古屋クラブとのリーグ最終戦に挑む。

関西CTL 第2戦 (10月14日) 滋賀県希望が丘球技場)

| | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 六甲ファイティングブル | | | | |
| 62 | | | | |
| | 3 | 3 | 1 | |
| | 1 | 1 | | |
| | 0 | 5 | | |
| 5 | | | | |
| 六 | 5 | T | 1 | ぎ |
| 甲 | 3 | G | 0 | ふ |
| F | O | P | G | 清 |
| B | 31 | 前 | 5 | 流 |
| ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| 5 | T | O | | |
| 3 | G | O | | |
| O | P | G | O | |
| 31 | 後 | O | | |
| 62 | 計 | 5 | | |

| | | |
|----|--------------------|--------------------|
| | | △父代 前田宣郎②由良、谷賀平③ |
| | 恒輝(立命大)② | ○橋詔 豊野裕介④→鎌田 館野元哉⑤ |
| FW | 知洋(同大)④ | ○トケ ハバク⑥→山下 |
| | 野崎 太一(大産大)② | |
| | 加村 大内 亮助(京大)④ | |
| | 中江 翔邦(関学大)② | |
| | 鎌田 崇史(同大)① | |
| HB | 舛尾敬 岩郎(専大)② | |
| | 舛尾敬 武志(大体大)⑥ | |
| | 舛尾敬 明輔(同大)② | |
| | 外舛尾敬 訾一下(花園大)④ | |
| | 橋垣 岩(花園大)④ | |
| TB | リチャード・ト 外村 貴(青学大)⑨ | |
| | 橋垣 岩 誠(大体大)⑦ | |
| | リチャード・ト 山下 謙(中大)⑨ | |
| | 山下 謙 将文(中大)⑨ | |
| | 内山 康美(帝京大)⑤ | |
| FB | 内山 良 | 六甲EB発堺(○数字は年齢) |

少し高めに浮いたが15メートル以上を押し切り、最後はNo.8板垣がタッチダウン。難しい位置からのコンバージョンもS.Oリチャードがきちんと決めて、14-0とした。

奪った。 残り20分からはトケに代わってハベアを投入。わずかな出場時間にハベアは強烈なタックルで相手攻撃を寸断。日本代表Aにも選ばれた巧みなパスワーカも披露した。 戦接が予想されたが終わってみれば10トライを奪つての快勝だった。ぎふ清流にとっては国体本戦で吉田主将が負傷BKの要であるCTB徐も負傷でベストメンバーでなかつたこともあつたが、六甲にはよし夏大敗した雪辱の気持ちと、創部43年